



住んでよかつたまち

訪ねてよかつたまち

もう一度訪れたいまち

近江八幡漫遊

近江八幡は、自然の恵みや先人たちが創り出した文化、
それらを受け継ぎ今を生きる人々の営みが一つとなって響きあう、
風情輝くまちです。



やうみはぢまん



織田信長

天下布武を掲げ、乱世を駆け抜けた信長 国を動かした英雄はこの地を選んだ

①安土城跡



織田信長が天正4年(1576年)丹羽長秀に命じ、約6年の歳月をかけて築城し、絢爛豪華な城郭だったと伝えられる安土城。現在は、重厚な石垣や礎石が残り、国特別史跡に指定されています。

拝観料 大人700円

入山時間 9:00~17:00
(入山16:00まで、季節により異なる)

休館日 無休

TEL 0748-46-4234(安土駅前観光案内所)

②安土城天主 信長の館



内藤昌復元◎

1992年スペイン・セビリア万博日本館のメイン展示物として出展された、安土城天主最上部5階6階部分が原寸大にて内部障壁画とともに復元されています。館内には当時の安土城と城下町の姿を再現したVRシアターもあります。

入館料 大人600円、高大生350円、小中学生170円

開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)

休館日 月(祝除く)・月が祝／振休の場合は翌日・年末年始

TEL 0748-46-6512

※安土城考古博物館との共通券あり

③滋賀県立安土城考古博物館



近江風土記の丘の一角にある西欧風の博物館。館内では弥生時代～古墳時代の生活様式を再現・展示しているほか、信長と安土城に関する資料を豊富に展示しています。

入館料 [常設展] 大人450円、高大生300円、小中学生無料
(企画展・特別陳列・特別展は別料金)

開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)

休館日 月(祝除く)・月が祝／振休の場合は翌日・年末年始

TEL 0748-46-2424

※信長の館との共通券あり

④安土城郭資料館



内藤昌復元◎

内部まで精巧に1/20に復元した幻の名城“安土城”が展示され、映像にて城を詳しく解説しています。安土桃山時代を描いた屏風絵風陶板壁画に囲まれ、ぐつろげる喫茶や土産コーナーもあります。

入館料 大人200円、高大生150円、小中生100円

開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)

休館日 月(祝除く)・月が祝／振休の場合は翌日・年末年始

TEL 0748-46-5616

⑤淨嚴院



信長が安土城下に建立した寺院。本堂を始め七つの重要文化財を所有しています。また、天正7年(1579年)に、浄土宗と法華宗の間で“安土問答”が行われた寺として有名です。

拝観料 大人500円

開館時間 9:00~16:30(要予約)

TEL 0748-46-2242、0748-46-5435

⑥セミナリヨ跡



信長の庇護を受けたイタリア人宣教師オルガンチノによって、天正9年(1581年)に創建された日本最初のキリスト教学校推定地。安土城炎上の際に焼失し、現在は一部が公園として整備されています。

近江八幡を深く愛したヴォーリズ、その軌跡と精神が息づくまち

ウイリアム・メレル・ヴォーリズ / 日本名 一柳米来留(1880-1964)

和の文化が色濃く残る近江八幡ですが、まちの中には異国情緒ある洋風建築が数多くあります。それらの建築の設計を手がけたのが、ウイリアム・メレル・ヴォーリズであり、明治38年、滋賀県立商業学校(現八幡商業高校)に英語教師として来日しました。来日後、熱心なキリスト教伝道活動を行うとともに、「建物の風格は、人間と同じくその外見よりもむしろその内容にある」との信条で、全国で約1600に及ぶ建築設計に携わりました。

メンソレータム(現メンター)を日本に輸入した人物でもあり、当時不治の病として恐れられた結核治療を目的とした近江サナトリアム(現ヴォーリズ記念病院)の建設、さらには、市内の子どもたちの教育の場として、図書館や近江兄弟社学園の設立など、多岐にわたる社会貢献事業を展開しました。「近江八幡は世界の中心」との思いいで、近江八幡のまちを深く愛したヴォーリズの軌跡と精神は、今もこの地で生き続けています。

⑦一柳記念館(通称ヴォーリズ記念館)



かつてのヴォーリズ夫妻宅であり、彼らゆかりの品々を展示。事前に電話予約。

入館料 無料

開館時間 内部見学は事前に電話予約

休館日 月・祝・その他不定休

(12/1-1/15まで展示入替のため休館)

TEL 0748-32-2456

⑧旧八幡郵便局



大正期のヴォーリズ建築の一つ。現在、NPO法人ヴォーリズ建築保存再生運動「一粒の会」の事務所として使用され、内部見学可能。

TEL 0748-33-6521

⑨池田町洋風住宅街



アメリカの開拓時代を象徴するコロニアルスタイルで、レンガ塀・高い煙突・広々とした庭等が特徴。見学は外観のみ。

⑩旧伊庭家住宅



大正2年建築の和洋式木造住宅。住友財閥2代目総理事である伊庭貞剛の四男慎吉の邸宅として建てられました。

開館時間 10:00~16:00

休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、

祝日の翌日・年末年始

TEL 0748-46-6324

やうみはぢまん



ウ
ヴォーリズ
ウイリアム・メレル

み 水のさと

豊かな水と緑に恵まれ、水とともに生きるまち

⑪八幡堀

近江八幡のまちが発展した理由はいくつかありますが、八幡堀の役割を欠かすことはできません。堀は城を防御するために存在しますが、豊臣秀次は、この八幡堀を運河として利用することを考え、琵琶湖を往来する船をすべて八幡の町に寄港させました。また、八幡山城下はかつての安土と同じく、楽市樂座を取り入れたことから、商人の町として大いに活気づきました。

多くの商人が八幡の町から全国へと旅立ち、近江商人として活躍した原動力となった八幡堀も、昭和30年頃になると高度経済成長期に入り、人々の生活は変化し、次第に市民の関心も薄らいできました。やがて、八幡堀はドブ川のようになり、埋め立ての計画も持ち上がります。しかし、「八幡堀は埋めた瞬間から後悔が始まる」の合言葉により、市民が立ち上がり、清掃活動に取組みました。その結果、次第にかつての姿を取り戻すようになり、今日でも各種団体による清掃活動が続けられています。

現在、写真や絵画の愛好家などが数多く訪れ、時代劇のロケ地としても頻繁に活用されるなど、市民の憩いの場であり、近江八幡の代表的観光地に位置づけられています。



春の八幡堀



口ヶ風景

昭和40年代後半(明治橋からの風景)



現在の八幡堀(同風景)

むらくもこしょぎいりゅうじ

⑫村雲御所瑞龍寺



村雲御所瑞龍寺の開山は、高野山で自害させられた豊臣秀次の菩提を弔うため、生母の瑞龍院日秀尼公が、文禄5年(1596年)、京都の村雲に創建。昭和36年に八幡山に移築され、山頂からは、安土山や琵琶湖、水郷地帯の眺望が楽しめます。

TEL 0748-32-3323



沖島全景

⑬沖島

日本最大の湖「琵琶湖」に浮かぶ最大の島「沖島」。湖上の島に人が住み生活を営むことは、日本ではここだけです。源氏の落人が住んだことから島の歴史は始まるといわれ、周囲6.8km、面積1.5km²の島の中には、小学校や郵便局、寺社、民宿があります。大半の島民は漁業に携わり、素朴で温かい島の生活が今も営まれています。

※沖島へは堀切新港から定期船が出ています。

⑭宮ヶ浜水泳場



環境省がまとめた「日本の水浴場88選」の一つ。水際まで芝生があり、遠浅のビーチ付近一帯はプレジャーボート乗入禁止区域であり、子ども連れでも安心です。

⑮北川湧水



室町時代、常楽寺港として栄えたこの地区には、数多くの湧水が当時の姿を残しながら流れています。

⑯常浜水辺公園



室町時代、觀音寺城の外港で港町として栄えた常浜。昭和初期まで琵琶湖を周遊する蒸気船の寄港地として活気にあふれ、現在は公園として整備され、市民の憩いの場となっています。別名「錠の橋」とも言われています。

⑰梅の川



かつて西の湖にそいだ湧水の一つ。信長の家臣である武井夕庵がこの水で点じた茶を献上したところ、信長が大変気に入り、この地で茶会を催す際には、好んで梅の川の水を用いたと伝えられています。

水郷の四季にヨシの薰りと、水面をわたる風を感じて

⑯水郷

西の湖を中心とした水郷地帯は、「春色 安土八幡の水郷」として琵琶湖八景の一つに数えられ、群生するヨシの中をカイツブリやヨシキリなどのさえずりとともに楽しめる水郷めぐり。春夏秋冬の情緒を五感で味わうことができ、都会の喧騒を忘れてのんびりとしたひとときを過ごせると、多くの人に喜ばれています。

近年では、ヨシが果たす水質浄化や生態系の面からもその重要性が注目され、平成18年1月、当地域は全国初の重要文化的景観に選ばされました。平成20年10月に、ラムサール条約湿地として西の湖と長命寺川が登録され、平成21年1月には、「白王・円山」が日本の里100選に選ばれるなど、その貴重な水環境は国内外から高く評価されています。日本の原風景ともいえるこの雄大な自然は、「日本一の水郷」として、人々の心にふるさとの温かさをもたらし、癒しの世界へと誘います。



春



夏



秋



冬

水郷めぐり



八幡商人

売り手よし、買い手よし、世間よし 三方よしの精神を受け継ぐ近江商人のふるさと

**⑯市立資料館・旧伴家住宅
(八幡教育会館)**



郷土資料館・歴史民俗資料館・旧西川家住宅(重要文化財)・旧伴家住宅(八幡教育会館)。近江商人の質素・儉約・質実剛健な暮らしぶりを肌で感じることができます。

入館料 大人900円、小人500円(4館共通)
開館時間 9:00~16:30(入館16:00まで)
休館日 月(祝除く)・祝翌日(土日祝除く)・年末年始
※観光シーズンは休館日なしの場合あり
TEL 0748-32-7048(市立資料館)
TEL 0748-32-1877(旧伴家住宅)

⑰日牟禮八幡宮



近江商人の守護神として、千有余年の歴史を誇る神社であり、人々の厚い信仰と加護により繁栄し続け、今日に至ります。かつて若干20歳でベトナムに渡り、海外貿易で名を馳せた近江商人 西村太郎右衛門が寄進した「安南渡海船額」をはじめ、多くの重要文化財が納められています。3月に左義長まつり、4月に八幡まつりが開催される神社としても有名です。

TEL 0748-32-3151

⑱白雲館(観光案内所)



明治10年、近江商人により、子どもの教育充実を図るために建てられた、八幡東学校。その費用のほとんどが寄付で賄われ、当時にして6,000円が集められました。現在は、観光案内所が併設された市民ギャラリーとして利用されています。(国登録有形文化財)

入館料 無料
開館時間 9:00~17:00 休館日 年末年始
TEL 0748-32-7003

㉑かわらミュージアム



国内でも珍しい瓦専門の展示館。近江八幡の地場産業である八幡瓦を中心に戸建瓦などを紹介。ミュージアムそのものに瓦の魅力が活かされ、趣きある建物となっています。瓦粘土を使った体験教室(要予約)も開催しています。

入館料 大人300円、小人200円
開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)
休館日 月(祝除く)・祝翌日(土日祝除く)・年末年始
※観光シーズンは休館日なしの場合あり
TEL 0748-33-8567

㉒ボーダレス・アートミュージアム NO-MA



重要伝統的建造物群保存地区にあるミュージアム。昭和初期に建てられた近江商人の一人、野間清六の分家を改築し、平成16年に開館。独創的な展覧会や取り組みは国内外から注目されています。

入館料 企画展によって異なる
開館時間 11:00~17:00
休館日 月(祝の場合は翌火休)・展示入替時・年末年始
TEL 0748-36-5018

㉓曳山とイ草の館



近江商人が取り扱った代表的産物「畠表」の製作道具やその材料となるイ草の栽培方法等が展示・紹介されています。館内には、毎年、7月の第3土曜日に開催される浅井小井祇園まつり(曳山まつり)で巡行する曳山(6基)も展示されています。イ草・湧水・まちづくりをテーマとした資料館です。

入館料 大人300円、小人150円(小中高)
開館時間 10:00~17:00
TEL 0748-33-0559

江戸時代、五街道の一つに数えられた中山道

伊庭 貞剛 (1847~1926)

住友財閥を育て100年前に環境問題を考えた実業家

伊庭 貞剛 (1847~1926)



伊庭 貞剛 (近江八幡
市勢要覧より抜粋)

弘化4年(1847年)、現在の近江八幡市西宿町に生まれ育ちました。22歳で司法官に任命され各地で活躍しますが、官界に失望し十年で退職。故郷に帰る挨拶に叔父の広瀬宰平(住友初代総理事)を訪ねた際に誘われ、住友に入社。当時、住友は労使対立や別子銅山が抱える公害問題等の対応に苦慮していましたが、貞剛の粘り強い努力により解決へと向かいます。特に公害問題への取組みは、足尾銅山問題に奔走した田中正造も絶賛しました。

後に、住友第二代総理事に就任し、現在の三井住友銀行・住友金属・住友電工・住友軽金属等を設立し、住友グループの基盤を築きました。明治23年には第1回帝国議会の衆議院議員として当選し、その後、若い世代に将来を託し、4年で総理事を退任、大正15年(1926年)に79歳で永眠しました。貞剛の生家跡は、当時からある楠の大木を象徴とした「いばらecoひろば」として整備され、人々の安らぎの場となっています。

㉔本願寺八幡別院



市内唯一の大寺院。関が原の合戦で勝利を収めた徳川家康の上洛の際に宿泊場所となりました。八幡商人は、大坂の陣で家康を助けたとされ、家康にとっても、思い入れのある土地であったと思われます。また、朝鮮通信使の休憩場所や食事場所としても使用され、侍従官 李南岡の詞書が残されています。

TEL 0748-33-2466

朝鮮から江戸へ 日朝友好の道、朝鮮人街道

江戸時代、日本は鎖国にありながら、朝鮮と琉球は、信を通わす外交のある国「通信の国」とし、中国とオランダは、貿易船の来航を認める「通商の国」として、国交がありました。豊臣秀吉の朝鮮侵略以後、関係が断絶していた朝鮮半島との国交回復を願った徳川家康は、対馬藩を通じて朝鮮へ幾度と使者を送り、関係回復に努めます。慶長12年(1607年)、正式に使節を迎えることとなり、以後、文化8年(1811年)までの間、計12回の通信使が日本を訪問しました。その朝鮮からの使節「朝鮮通信使」が江戸まで通った道が「朝鮮人街道」と呼ばれ、今もその名を残しています。

朝鮮人街道の起りは、織田信長が安土城築城の際に、京都までの道を結んだことによるとされます。中山道の「上街道」に対し、「下街道」と呼ばれたほか、琵琶湖岸を走ることから「浜街道」とも呼ばれました。朝鮮通信使は、文化使節的な面を持ち、学者や文人、画家や書道家達も同行するなど、当時の日本文化に大きな刺激を与えたと思われます。

㉕近江中山道 武佐宿



江戸時代、人と物資が盛んに往来し賑わった宿場町。虫子窓や格子を巡らせた古い家並みと辻に残る石の道標が、当時の名残を留めています。かつて、武佐桟、武佐墨等の特産品があったと伝えられ、当地で発見され名づけられた武者竜胆があります。

人、物行き交う
中山道、朝鮮人街道

まん

万葉ロマン

万葉ロマンに誘われ、いにしえより変わらぬ信仰の地を巡る

くわのみでら
㉗桑實寺



西国薬師霊場第46番札所。天智天皇の勅願により創建。初代定惠和尚が唐から桑の実を持ち帰り、日本で最初に養蚕を始めたことが寺名の由来といわれています。本堂と「桑實寺縁起絵巻」は、重要文化財に指定されています。

入山料 大人300円、小人150円
入山時間 9:00~17:00(12月~2月 16:30まで)
TEL 0748-46-2560、0748-46-4025

おいそのもり おいそじんじや
㉙老蘇森 奥石神社



老蘇の森は、万葉の昔から歌に詠まれてきた名高い森で、国の史跡にも指定されています。森の中には、繖山(觀音寺山)をご神体とした安産延寿・狩獵・農耕の神様である奥石神社があり、本殿は、重要文化財に指定されています。

TEL 0748-46-2481

ひとえは 思ひ出になけ ほとぎす
老蘇の森の 夜半のむかしを
(紀伊守範光/平家物語)

身のよそに いつまでか見ん 東路の
老蘇の森に ふれる白雪

(賀茂真淵)

夜半ならば 老蘇の森の 郭公
今もなかまし 忍び音のころ

(本居宣長)

㉙賀茂神社



約1300年前、全国初の国営放牧場が建設された地に、天平8年(736年)、聖武天皇により、創建。馬の聖地として名高く、吉備貞備ゆかりの神社です。安産・子授・縁結の靈験。5月の賀茂祭で行われる「足伏走馬」は、宮中の競馬行事を今に伝える、千年以上の歴史をもつ由緒ある神事です。

TEL 0748-33-0123

㉚沙沙貴神社



古代の豪族、狭狭城山君の氏神とされ、平安時代中期以降は、近江源氏佐々木氏の氏神として崇拝されました。本殿をはじめ八棟の県指定文化財を所有し、境内を彩る四季折々の花々が美しく、4月の沙沙貴まつりなどが有名です。

TEL 0748-46-3564

いわとやまじゅうさんぶつ
㉛岩戸山十三仏



箕作山の南端の巨大な一枚岩に、聖徳太子が刻んだとされる十三体の仏像が安置されています。毎年4月には千日会が行われ、信仰厚い人々で賑わいます。頂上からの眺めは絶景です。

TEL 0748-46-4234(安土駅前観光案内所)

随筆家 白洲正子が愛した近江、「かくれ里」・「近江山河抄」ゆかりの古刹を訪ねて

白洲 正子 (1910~1998) 近江をこよなく愛し、その豊かで繊細な感性のもと筆を走らせた随筆家

白洲正子は、明治43年(1910年)、樺山愛輔の次女として生を受けます。史上初めて女性として能舞台に立ち、小林秀雄や青山二郎といった一流文化人と交流しながら、日本文化に関する随筆を多く手がけました。自ら各地を旅し、その土地に息づく自然や文化の持つ美しさを、豊かで繊細な感性で文章につづり、今なお多くの人々を惹きつけています。

㉕長命寺



西国31番札所。寺伝によると、約1800年前、景行天皇時代に活躍した武内宿禰が本山で長寿を願ったところ、300歳以上の寿命を得たといわれ、その後、聖徳太子により長命寺と名づけられたとされています。808段の石段を登ると、本堂・三重塔・鐘楼・護摩堂が連なり、境内からは雄大な琵琶湖を望むことができます。近年、紫陽花の寺としても有名です。

TEL 0748-33-0031

㉖觀音正寺



西国32番札所。605年、人魚の哀願により、聖徳太子が建立したと伝えられています。インドの白檀を使用した高さ7mの千手千眼觀世音菩薩像が安置されています。

入山料 500円(内陣/拝観料300円)
林道 600円
TEL 0748-46-2549

㉗觀音寺城跡



繖山(觀音寺山)の山中には、中世に近江を支配した佐々木六角氏の居城、觀音寺城跡があります。全山を城域とする山城としては日本最大の規模を誇る遺構で、国の史跡にも指定されています。現在も石垣や礎石が残り、日本百名城の一つです。

㉘教林坊



聖徳太子創建の古刹。巨石を配し苔むした名勝庭園は、小堀遠州の作と伝えられ、桃山時代の侘びさびの清雅な趣があります。紅葉の名所、白洲正子の「かくれ里」、近年は映画やドラマのロケ地で知られます。

拝観料 大人500円、小中生200円
※通常、土日祝のみ拝観可能。11月1日~12月15日は平日も拝観可能。駐車場普通車(70台)、バス6台
TEL 0748-46-5400

白洲正子と
近江のかくれ里

I 八幡堀周辺



↓至琵琶湖大橋・大津・京都



豊臣秀次

豊臣秀吉の嫡ともの長男で秀吉の養子。信長亡き後、秀次は八幡山城築城とともに八幡堀を掘削して湖上交通の要衝とし、安土や近郷の住民を八幡山城下に集め、楽市楽座制を取り入れて商業都市としての礎を築きました。後に、関白職を継ぎましたが、秀吉に秀頼が生まれたことにより、謀反の罪を着せられ、自害させられました。彼の手がけたまちづくり精神は今日まで引き継がれ、NPO法人秀次俱楽部などの団体により顕彰され、八幡開町の祖として慕われています。



③滋賀県立安土城考古博物館



近江風土記の丘
滋賀県立
安土城考古博物館

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678
Tel.0748-46-2424 http://www.azuchi-museum.or.jp/
開館時間 午前9時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで
休館日 月曜日 ※月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日
年末年始(12/28～1/4まで)

③6近江八幡和船観光協同組合

手こぎ舟

元祖 近江八幡水郷めぐり

舟のりば：近江八幡市北之庄町880
(豊年橋和船のりば口)

TEL.0748-32-2564
<http://www.suigou-meguri.com>

③7休暇村 近江八幡

休暇村

近江牛と温泉と
ロケーションが
自慢の琵琶湖畔の宿

休暇村 近江八幡

TEL.0748-32-3138
<http://www.qkamura.or.jp/ohmi/>

II

安土駅前周辺



③8安土駅前レンタサイクル たかしま

**安土駅前レンタサイクル
たかしま ☎0748-46-3266**

- ご予約の方に信長グッズをプレゼント!
- ・団体割引有・観光マップ有
●クロス・軽快・子供車、100台以上
- [安土駅真正面!]



③9文芸の郷レストラン

BUNGEINOSATO RESTAURANT

喫茶・軽食から新鮮な素材で地場産品を使った旬味豊かなお食事まで

文芸の郷レストラン

滋賀県近江八幡市安土町桑實寺800番地
●席数/64席 ●営業時間/AM10:00~PM4:00
●定休日/毎週月曜日 (閉店時は時間が変わる事があります)
TEL-FAX 0748-46-6555

④0安土観光レンタサイクル(ふかお)

安土観光レンタサイクル(ふかお)
TEL/FAX 0748-46-3202

- 団体割引有
- 詳細観光マップ有 (ビワイチマップ有)
- クロスバイク
- 電動アシスト
- 軽快
- 子供車 120台

【安土駅・北口・右正面】



お申込みは…

近江八幡駅北口観光案内所
TEL 0748-33-6061
安土駅前観光案内所
TEL 0748-46-4234

【観光ボランティアガイド】

2名様以上のグループで5日前までにお申込みいただきますと市内をガイドいたします。
(交通費としてガイド1名につき1,000円ご負担願います。)

たび ～近江八幡満喫～

1泊2日 モデルコース

先人たちの軌跡を辿る旅 歴史ロマンコース

1日目 »

JR安土駅 — 安土城郭資料館 — 安土城跡 — (昼食) — 県立安土城考古博物館・安土城天主信長の館 — 沙沙貴神社 — 市内宿泊地

2日目 »

宿泊地出発 — 池田町洋風住宅街 — 市立資料館 — 八幡堀 — 日牟禮八幡宮 — (昼食) — 水郷めぐり — 一柳記念館(ウォーリズ記念館) — 旧八幡郵便局 — ボーダレス・アートミュージアムNO-MA — JR近江八幡駅

近江の祈りのみち 古社寺巡礼コース

1日目 »

JR近江八幡駅 — 本願寺八幡別院 — 市立資料館 — 八幡堀 — (昼食) — 八幡山ロープウェー(村雲御所瑞龍寺) — かわらミュージアム — 西国31番札所長命寺 — 市内宿泊地

2日目 »

宿泊地出発 — 浄巣院 — 北川湧水 — 西の湖水郷めぐり — (昼食) — 桑實寺 — 観音寺城跡・西国32番札所観音正寺 — 教林坊 — 石寺樂市 — JR安土駅

まつり

～四季のまつり～

歳時記



4月：沙沙貴まつり(沙沙貴神社)／第1土曜日

八幡まつり(日牟禮八幡宮)／14・15日

14日の松明まつりでは、境内に並んだ大小さまざまな松明が奉火され、15日の太鼓まつりでは、大太鼓の宮入りが行われます。

5月：篠田の花火(篠田神社)／4日

江戸時代に起源を持つとされる伝統花火。毎年異なる題材の花火絵が奉納され、しみじみとした感動を与えます。

足伏走馬(賀茂神社)／6日(平日の場合、6日以降の最初の日曜)

6月：あづち信長まつり／上旬



7月：浅小井祇園祭(浅小井町)／第3土曜日

8月：伊崎の棹飛び(伊崎寺)／1日

9月：八幡堀まつり(八幡堀周辺)／中旬

10月：近江源氏祭(沙沙貴神社)

11月：教林坊紅葉ライトアップ(教林坊)／11月中旬～12月上旬

12月：近江八幡節句人形めぐり(市立資料館ほか)／2月中旬～3月中旬

3月：左義長まつり(日牟禮八幡宮)／14・15日に近い土曜

湖国に春を告げる祭。その年の干支にちなんだ13基の左義長が2日間にわたり旧市街地を巡回し、2日目の夜に奉火されます。

え
え
も
ん

近江八幡特産品

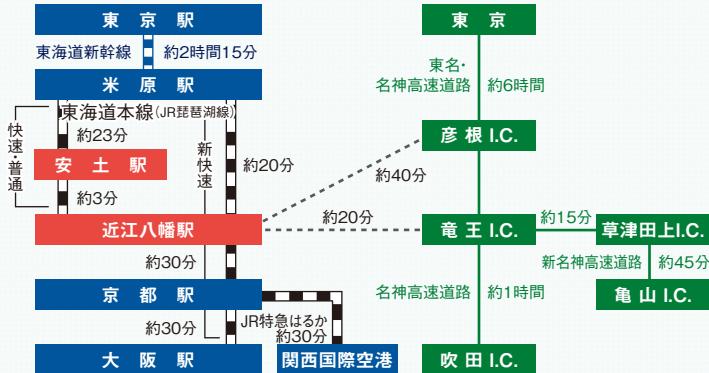
近江八幡には、豊かな大地からの恵みや長い歴史の中で生み出された特産品が多くあります。代表的なものでは、日本の三大牛の一つに数えられる「近江牛」、織田信長ゆかりの「赤こんにゃく」、近江商人ゆかりの「丁稚羊羹」、「丁字麩」、琵琶湖の恵みの「近江米」や「湖魚佃煮」などがあります。近年は、環境こだわり品として、ヨシうどんやヨシジェラードなど、ヨシを使った食品もおすすめです。

工芸品では、奈良時代からの歴史がある「押し絵」、聖徳太子からの伝授といわれる「八幡数珠」、商人の町並みには欠かせない「八幡瓦」、「竹工芸品」、「八幡靴」のほか、水郷地帯に群生するヨシを使用したヨシ紙やスダレなど、数多くの地場産品があります。

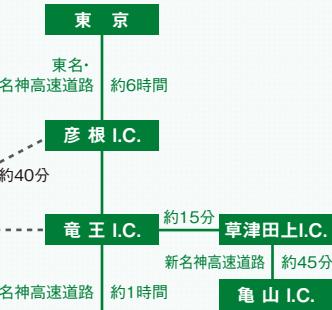


交通アクセス (車・電車)

▶ JRをご利用の場合



▶ 車をご利用の場合



▶ 駐車場をご利用の場合

種別	大型(マイクロバス含む)		普通車(軽自動車含む)	
	収容台数	料金(1回)	収容台数	料金(1回)
A.市営小幡観光駐車場	11台	2,060円	83台	510円
B.多賀観光駐車場	7台(最大10台)	2,000円	43台(最大57台)	500円
C.安土城跡前駐車場	最大30台	2,060円	最大180台	510円

※営業時間 9:00～17:00(予約不可)

【観光に関する問合わせ】

近江八幡観光物産協会………<http://www.omi8.com>

近江八幡駅北口観光案内所………TEL 0748-33-6061 FAX 0748-32-4125

安土駅前観光案内所………TEL・FAX 0748-46-4234

近江八幡漫遊 多言語アプリ配信中!!

「見たり・聞いたり」
無料アプリ
Catalog Pocket



カタボケはあなたの
ポケットとなり情報を
たくさん詰め込んで
旅のお供をします。

◀ このアイコンが目印

アプリで情報配信中!

Information distributed through application!

大量信息正以应用呈送中!

應用程式發送資訊中!

ア플リケイ션으로 정보 발신 중!

★スマートフォン・タブレットで読める

★5言語で読める

【日・英・中(簡体)・中(繁体)・韓】

★文字サイズを調節できる

★音声読み上げもできる



詳しくは <http://www.catapoke.com/>

※このパンフレットに表記されている料金等は改訂になる場合がございます。